

2026 年 8 月 5 日
サーキュラーパーク九州株式会社

**鹿児島県薩摩川内市を中心とした
粗大ごみ・不燃ごみの広域回収・再資源化実証に参画
～自治体・関係事業者と連携し、地域資源循環モデルの構築に向けた実証を実施～**

サーキュラーパーク九州株式会社（本社：鹿児島県薩摩川内市、代表取締役 中窪 康太）（以下、CPQ）経済産業省の委託事業「令和 8 年度資源自律経済確立産官学連携加速化事業費」の一環として、鹿児島県薩摩川内市を中心に、粗大ごみ・不燃ごみの広域回収と再資源化に関する実証に参画します。本実証は、2026 年 9 月上旬から 11 月下旬まで実施予定です。

1. 実証の背景

資源制約や環境負荷への対応が求められる中、廃棄物を地域の資源として循環させる仕組みづくりが重要になっています。一般廃棄物の中でも、粗大ごみや不燃ごみには再資源化の余地がある一方、分別・選別の難しさや処理量の確保、経済性などが課題となっています。

2. 実証事業の概要

本実証では、薩摩川内市を中心に、阿久根市、いちき串木野市、さつま町の協力のもと、地域で排出される粗大ごみ・不燃ごみの一部を CPQ に集約し、分別・選別、処理、再資源化までの一連の流れを検証します。

実施期間：2026 年 9 月上旬～11 月下旬（予定）

対象地域：鹿児島県薩摩川内市を中心に、阿久根市、いちき串木野市、さつま町が協力

主な対象物：粗大ごみ・不燃ごみの一部

実施内容：広域回収、分別・選別、処理、再資源化、効果検証

CPQ は、回収された廃棄物の受入れ、分別・選別、処理、再資源化の中核を担います。事業全体の企画・統括や効果検証は合同会社デロイト トーマツが担い、処理量やリサイクル率、CO₂排出量削減などに関するデータ収集・分析については、株式会社モノファクトリーが協力します。

3. 実証で検証する主なポイント

今回の実証では、これまで十分に資源として活用しきれなかった可能性のある粗大ごみ・不燃ごみについて、広域で集約することにより、再資源化の可能性と事業性を検証します。

- ・ 分別・選別、処理工程による再資源化率の向上
- ・ 焼却・埋立て量の削減可能性
- ・ 回収・運搬・処理を含めた効率性と経済性
- ・ CO₂排出量の削減効果
- ・ 再資源化された材料の品質や販売可能性

4. 今後の展望

CPQ は、本実証を通じて、自治体や関係事業者と連携しながら、地域で発生する廃棄物を資源として循環させる仕組みの構築に取り組みます。将来的には、薩摩川内市をはじめとする地域における資源循環モデルの確立と、他地域への展開にもつなげていきます。

以 上

本リリースに関する問い合わせ先

■サーキュラーパーク九州株式会社 ソリューション事業部 TEL：0996-41-5713 Email：inform@cpq.co.jp